

福岡県柳川市 協同組合柳川おもてなしカード会 「電子地域通貨『やなPay』によるキャッシュレス推進」

〈補助事業名〉

IT導入補助金（複数社連携IT導入枠）／経済産業省

地域経済循環の確立、観光消費の獲得、キャッシュレス決済への対応に向けて、ポイントカードと電子マネーが一つになったキャッシュレス決済システムを、協同組合で運用。

消費者の利便性向上による加盟店の売上アップを目指す。



カード・スマホ対応のチャージ機

取組内容（補助年度：令和5年度）

- 同会では、キャッシュレスの流れを受け、クレジットカードやスマホ決済に係る手数料が市外へ流出していくことを懸念。また、若者層の利用拡大を見据えて、キャッシュレス事業に取り組むこととした。
- 市全域で取り組むべく、同会、商工会、商工会議所、市内4商店街、市で構成する実行委員会と、実働を担う検討委員会を設置し、若手メンバーを中心に協議を重ねた。
- 令和6年6月に、ポイントカードと電子マネーが一つになった「やなPay」を導入し、同会が運営【システム及び機器導入費用について補助金を活用】



ポイント

- 高齢者にも使いやすいよう、現金でチャージ可能なカードとスマホアプリのどちらでも使えるようにした。
- システム移行時、加盟店での通信トラブル等には検討委員会メンバーで対応し、特に高齢事業者のサポートに務めた。
- 補助金活用に必要な書類を整えるためには、加盟店を含めた組織の結束力が求められる。

協同組合柳川おもてなしカード会

平成27年に、市内統一のポイントカード事業を立ち上げるために組織された団体。旧カードは4万枚程を発行し、広く利用されていた。

地域循環型経済圏を確立させる上で課題となっていたキャッシュレス化に向け、IT導入補助金を活用させていただきました。加盟店にとってデジタル化を進めるための大きな助けとなっています。

同会 副理事長 甲木 健太郎さん



成果・今後の展開

- やなPay導入後、加盟店数は約200店舗、カード保持者は約1.9万人（令和8年1月時点）となった。令和8年度には市内観光地の整備事業も完了予定であり、新たに観光関連事業者にも加盟を促して観光消費の獲得に繋げる。魅力ある加盟店増により、地域内での経済循環を目指す。



